



平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ィ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 江 崇 文
(コード番号：1436)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 尾 崎 昌 宏
(03-5778-9436)

剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 11 月 10 日開催の取締役会において、平成 28 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につき、下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 平成 28 年 7 月 29 日	前期実績 平成 28 年 3 月期実績
基 準 日	平成 28 年 9 月 30 日	同左	平成 28 年 7 月 21 日
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭	未定	24 円 00 銭
配 当 金 総 額	—	—	25 百万円
効 力 発 生 日	—	—	平成 28 年 8 月 31 日
配 当 原 資	—	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、平成 28 年 7 月 29 日付「平成 28 年 3 月期決算短信」にて公表いたしましたとおり、平成 29 年 3 月期の配当予想を未定とし、予想が可能となった時点で公表することとしておりました。こうしたなか、平成 28 年 11 月 10 日付「平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信」にて公表いたしましたとおり、平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間においては、第三者調査委員会による調査対応等のため、営業活動への影響、また同調査費用等が発生しております。

年間の配当水準の判断にあたっては、当社の今後の事業展開及びキャッシュ・フローの状況を総合的に勘案のうえ、業績への連動性を重視したうえで、利益配分を行うことを配当政策の基本としており、それに伴う通期業績の水準を見極める必要がありますが、現時点では、これらを明確に見通すことが困難であるため、中間配当金につきましては、見送ることいたしました。

期末配当につきましては、同様の理由により、引き続き未定といたしますが、当社は、経営基盤の長期安定に向けた財務体質の強化及び事業の継続的な拡大発展の実現を目指して事業経営を進めており、こうした状況も踏まえ、今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

以 上